

## 第6学年 総合的な学習の時間 学習指導案

宇和島市立住吉小学校 教頭 信藤 明秀

### 1 単元名 進め！ われら住吉もてころ隊

### 2 単元の目標

- 地域の方たちが困っていることや小学生に願っていることなど、地域の方の考えについて理解し、まとめることができる。 (知識・技能)
- これまでたくさん力を貸してくださってきた地域の方々に対して、自分たちができることをしたいという目的意識を持ち、具体的にできることについて考えることができる。 (思考・判断・表現)
- 地域の方々のために、役に立ちたいという思いで進んで学習に取り組むことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)

### 3 単元について

#### (1) 教材観

本単元では、これまでにたくさんお世話になってきた地域の方への恩返しをする活動を取り上げる。

読み聞かせ、昔の遊び学習、登下校の見守り、交通安全教室、環境整備などたくさんの方々の活動で、地域の方々为学校生活に力を貸してくださってきた。そうした方々が、自分たちのためにどういった気持ちで力を貸してくださっているのかについて考えることができる。お世話になった方々の考えを知ることで、自分たちが地域の子どもたちとして大切にされ、将来活躍することを願っていることや、日ごろ困っていることを知ることができる。そうした思いを知ることは、地域の方と自分たちのつながりについて深く考えることにつながり、さらには自分たちが地域の方のためにできることを考え、実行するきっかけとなる。

#### (2) 児童観

本学級の児童は、入学からこれまでの間、地域の方々にたくさんお世話になっている。読み聞かせ、昔の遊び学習、登下校の見守り、交通安全教室、環境整備……など、地域の方々が学校の教育活動に関わってくださっている項目は多岐にわたっている。特に今年度は、「住吉小もてころサポーター」が結成され、校内の本棚作りやエアコン掃除など、より深く日常的に組織的に関わってくださるようになったことも知っている。

日頃はお世話していただくことが多い児童は、受け身になることが多い。しかし、本学習によって自らが動いて地域の方々の考えを知ったりそれに対して行動したりすることで、主体的に考えるようになる。本課題を取り上げる意義はたいへん大きい。

#### (3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず、小学校に入学してからこれまで、どういったことで地域の方々にお世話になってきたかを振り返る。このことを通して、自分たちが数多くの活動で地域の方々に支えられる中で小学校生活を送ってきたことに気付かせる。その資料を基に、地域の方々の心の中にも「もてころ精神」(奉仕の精神)が息づいており、日々自分たちのために活動して

くださっていることに気付かせたい。

次に、「住吉小もてころサポーター」のリーダーの方をゲストティーチャーとして招き、どのような気持ちで住吉小学校を助けてくださっているのか、その思いについて話していただく。児童はその思いを知り、6年生となった今、地域の方々のために自分たちも何か役に立つことをしたいという意欲を持つようになる。これをきっかけに、他の方々の思いも知りたいという思いを持つようになるだろう。学校に来てお話をさせていただいたり、あるいは手紙を書いてお返事をいただいたりする中で、児童は、より深く詳しくその思いを知ることになる。

そして、自分たちが地域の方々のために何かできることがあるのではないかと思い始めた児童は、地域の方々の日ごろ困っていることなどについて調べる。アンケート調査や聞き取り調査などを行い、具体的な思いをできるだけたくさん集める。その際、ICTを効果的に活用し、情報を整理し、分かりやすくまとめさせる。

このようにして地域の方々の困っていることについての情報を集めた児童に、その中から自分たちができることについて考えさせる。「住吉小もてころサポーター」とも相談しながら、実際にできること、特に長い間継続してできることについて、考えさせる。

さらに、自分たちで考えたことを具体的に実行し、その際の地域の方々の思いを直接聞くことで、末永く続く活動になるように進めていく。

#### (4) ESDとの関連

##### ・ 本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

相互性…現在の地域の様子は、関わり合いが減っており、このままだと寂しい思いをするお年寄りの多い町になってしまう可能性があるということ。

公平性…お年寄りが増えた町では、若い世代との交流が減ることで、災害が起こったときや病気になったときに、必要な支援が受けにくい状態になってしまうということ。

連携性…これからの地域は、親戚等だけで支え合うのではなく、自分たちを含めた若い世代で支えていく必要があるということ。

##### ・ 本学習で育てたいESDの資質・能力

多面的・総合的に考える力（システムズ・シンキング）

お年寄りも若い世代も、気持ちよく安心して暮らせる地域社会とはどういったものか考える。  
コミュニケーションを行う力

地域の方たちに対して自分たちができることについて、意見を交流させながら考えを創り上げる。

つながりを尊重する態度

地域の方々が力を貸して下さったり自分たちが地域の方々役に立ったりすることが、地域をよりよくしていくことにつながることを自覚する。

##### ・ 本学習で変容を促すESDの価値観

世代内の公正

地域の方々も自分たちも安心して過ごせる地域にしなくてはならない。

人権・文化を尊重する

地域の方々も自分たちも、安心して過ごせるように努めなくてはならない。

幸福感に敏感になる、幸福感を重視する

地域の方々も自分たちも幸せを感じたり相手に感謝したりすることが大切である。

・達成が期待されるSDGs

3 すべての人に健康・福祉を

11 住み続けられるまちづくりを

#### 4 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①地域の方々、どういった気持ちで学校に力を貸してくださっているのか、日ごろ困っていることにはどういったことがあるのかを理解している。 ②学んだり、調べたりして獲得した知識を、ICTを用いて、分かりやすくまとめる技能を身につけている。	①資料を基に課題を見出し、自分たちができることについて具体的に考えることができる。 ②自分たちができることについて、行動プランの中で表現している。	①自分たちも、地域の方々のために役に立ちたいという思いで、意欲的に地域の方々に関わろうとしている。 ②地域の方々との意見交流をすることで、地域の方々の願いを具体的に知り、自分たちにできることを意欲的に探そうとしている。 ③地域の方々のために、自分たちができることを意欲的に実行しようとしている。

#### 5 単元の指導計画（全○時間）

主な学習活動	学習への支援（・）	○評価・備考
1 地域の方々、学校のためにしてくださったことを知る。 ・読み聞かせ、朝の登校の見守りなどをしてくださったな。 ・住吉小もてころサポーターができてからは、環境整備や本棚作りなど毎月きてくださっているな。 ・地域の方々のおかげで、自分たちが安心して過ごせているのだな。	○入学してから6年生になるまでの生活を振り返る資料を提示し、地域の方々との関わりに着目させ、自分たちの学校生活が地域の方々の支えがあって成り立っていることに気付かせる。	ア① (知・技)
2 地域の方々、どういった気持ちで私たちの学校を助けてくれているのかを知る。 ・が安全に登校できることが大切だ	○「住吉小もてころサポーター」の方に来ていただき、学校を助けようとしてくださっているその思いに気付かせる。	ア① (知・技)

<p>とってくれているのだな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちが元気に過ごせることがうれしいとってくれているのだな。</li> </ul> <p>3 地域の方々は、普段どんなことに困っているのかを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日中は時間があるけれど、あまり人と関わってなくて寂しいのだな。</li> <li>・子どもたちと話していると元気が出るのだな。</li> </ul> <p>4 地域の方々のために、自分たちができることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙を書いて元気付けることができる。</li> <li>・学校に招いて、一緒に遊ぶのがいい。</li> <li>・パーティーを開いて楽しんでもらう。</li> </ul>	<p>○地域の方々の思いに気付かせる。</p> <p>○できるだけ継続して活動ができることがないかと考えさせるようにする。</p>	<p>ア① (知・技)</p> <p>イ① (思判表)</p> <p>ウ② (主体的)</p>
<p>5 地域の方々のために、自分たちができることを実行する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙を書こう。</li> <li>・一緒に遊びタイムをしよう。</li> </ul>	<p>○失敗を恐れずに、まずは実行しようという意欲を持たせる。</p>	<p>イ② (思判表)</p> <p>ウ③ (主体的)</p>
<p>6 自分たちの行動について振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々が喜んでくれているといいな。</li> <li>・自分たちも楽しかったな。</li> </ul>	<p>○今後も継続した活動となるように、自分たちの気持ちの変化に気付かせる。</p>	<p>ウ① (主体的)</p>